

新春スペシャル講座 「Society5.0社会の到来」

これからやってくる「超スマート社会」のことをSociety5.0と称し、政府は「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」と定義しています。IoT、クラウド、AI、ロボット、5G等のデジタル技術とビッグデータによってネットワークとデータが新たな価値をもたらし、社会を支える「超スマート社会(Society5.0)」を実現するということであり、東京都はスマート東京(東京版Society5.0)の実現こそが東京の未来に不可欠であるとしています。

本講座では、Society5.0が社会にもたらす変化の潮流と、それを強力に推進するテクノロジーについて東京都立大学教員と専門家がその概要を紹介・説明し、皆様に関心を高めていただくと共に、新しい社会に適応できる人材育成や学びについて考える機会としていただきます。

テクノロジーの進化とビジネス・社会変革

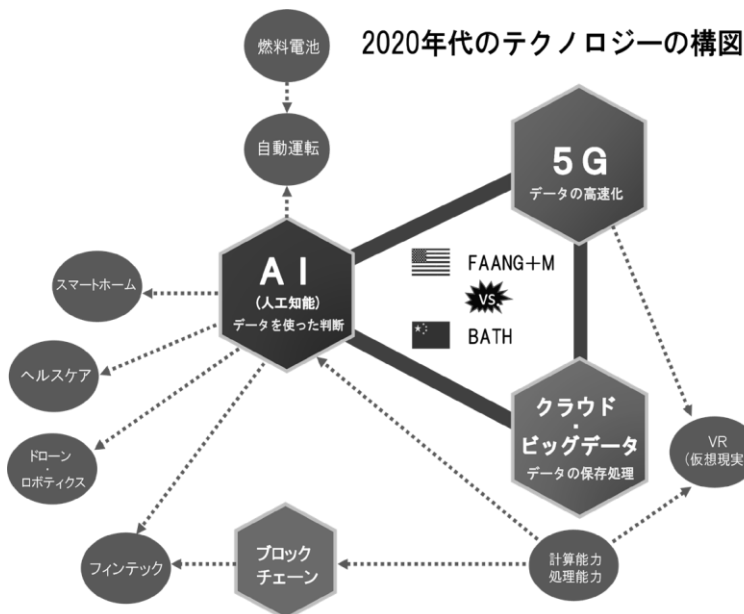
「Society5.0」とはクロステック(X-Tech)により全体最適化された社会とも言えます。

X-Techとは、既存の業界のビジネスとAIやビッグデータ、IoTなどといった先進的なテクノロジーを結びつけて生まれた新たな製品やサービス、あるいはその取り組みを指します。具体的な例としてはテクノロジーを用いて新たな金融サービスを生み出す、あるいは既存の金融サービスを革新するFin Techが挙げられます。またFin Tech以外でも、農業分野におけるAgri Techや健康分野のHealth Tech、デジタルマーケティングなどによるMar Tech、教育にテクノロジーを活用するEd Techなどがあり、さまざまな業界でテクノロジーを用いた新たな取り組みが進められています

これらのテクノロジーの進化と活用によって、私たちを取り巻く社会環境や生活自体も大きな変革を迎えることになり、「超スマート社会(Society5.0)」実現への期待が高まります。

Society5.0社会の実現に向け、これからの時代にはテクノロジーの基礎的教養も大切であり、本講座によって、理解を深めていただく機会となれば幸いです。

Society5.0 理解のためのテクノロジー



近未来のテクノロジーはデータの「高速・大容量」「低遅延」「同時接続」を可能にする5G、データの保存・処理能力を飛躍的に伸ばすクラウド、それらのデータを使って高度な判断を行うAI(人工知能)の3つが組み合わさったトライアングルを基軸に、自動運転やスマートホームといった新しいテクノロジーが次々と具体化していくことになる。加えて新しい4つめの軸となるブロックチェーンが登場したことで、データや情報がより効率化・民主化されていく。

※トライアングルの分野で先行しているのは

◇米国の **FAANG+M**

(Facebook, Amazon, Apple, Netflix, Google and Microsoft)

◇中国の **BATH**

(Baidu, Alibaba, Tencent, Huawei)

出典：山本康正『次のテクノロジーで世界はどう変わるのか(講談社現代新書)』

東京都立大学オープンユニバーシティ 新春スペシャル講座「Society5.0社会の到来」

1月9日(土) 10:00～・1月16日(土) 13:00～

講座コード 2041G101

受講料: 5,000円(特別価格)

定員: 150名

場所: オンライン



講座名 Society5.0社会の到来

※「新春スペシャル講座」は特別価格(受講料)で提供しており、入会金も不要です。

■1月9日(土) 1日目 part I		
10:00	オープニング挨拶	東京都立大学 学長特任補佐 にしむら かずお 西村 和夫 オープンユニバーシティ長
10:05～12:00	Society5.0社会の到来 「次のテクノロジーで世界はどう変わるのか」	DNX ventures インダストリーパートナー 京都大学大学院 特任准教授 やまもと やすまさ 山本 康正 氏
昼休憩		
13:00～14:30	創造のメカニズムを解明する ～Society 5.0を支えるモノ・コト・ビジネスのイノベーション デザイン～	東京都立大学 システムデザイン学部 しもむら よしき 下村 芳樹 教授
14:45～16:15	クロステックがもたらす社会 「ロボット技術と人工知能が実現する スマーター・インクルーシブ・ソサイエティ」	東京都立大学 システムデザイン学部 くぼ たなほゆき 久保田 直行 教授
■1月16日(土) 2日目 part II		
13:00～14:30	データサイエンスにおけるAI: 自動化と協調の観点から	東京都立大学 システムデザイン学部 たかま やすふみ 高間 康史 教授
14:45～16:15	生活者発想 × テクノロジーによる経済社会の価値創造: 「生活者データ・ドリブン」マーケティング」とはなにか	博報堂 執行役員 エグゼクティブマーケティングディレクター あんどう ちとひろ 安藤 元博 氏

◇山本康正 氏 略歴

東京大学で修士号取得後、三菱UFJ銀行ニューヨーク米州本部に就職。ハーバード大学大学院で理学修士号を取得。グーグルに入社し、フィンテックやAI(人工知能)などで日本企業のデジタル活用を推進。ハーバード大学客員研究員。日米のリーダー間にネットワークを構築するプログラム「US-Japan Leadership Program」諮問機関委員、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 事業カタライザー。2018年よりDNX Ventures インダストリー パートナー。京都大学大学院総合生存学館特任准教授。本年1月に『次のテクノロジーで世界はどう変わるのか(講談社現代新書)』を上梓。



◇安藤元博 氏 略歴

博報堂/博報堂D Yメディアパートナーズ執行役員。デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム取締役執行役員。博報堂D Yグループの“生活者データ・ドリブン”マーケティングの中核推進組織を率いる。ACC(グランプリ)他受賞多数。ACCマーケティングエフェクティブネス/カンヌライオンズ国際クリエイティビティフェスティバル等の審査員を歴任。東京大学大学院学際情報学府修士課程修了(社会情報学)。共著に『マーケティング立国ニッポンへーデジタル時代、再生のカギはCMO機能』『デジタルで変わる広報コミュニケーション基礎』など。

